

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

令和6年 8月 31日

(宛先)
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
滋賀県湖南市下田1848-10

氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)
DOWAサーエンジニアリング株式会社
滋賀工場長 鈴木 智晴

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項・第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、
[事業者行動計画を策定 (変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	DOWAサーエンジニアリング株式会社 代表取締役 信耕望
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	愛知県名古屋市瑞穂区浮島町19-1

1 事業所の概要

事業所の名称	DOWAサーエンジニアリング株式会社 滋賀工場					
事業所の所在地	滋賀県湖南市下田1848-10					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	2	4	6	5	金属熱処理業
事業の概要	金属熱処理加工及び表面処理					
従業員の数	87	人	作業時間	24	時間/日	
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	任意提出事業者				
主要な設備	ボイラ	8	台	熱源設備	44	台
	コンプレッサ	6	台	空気調和設備	46	台
				照明設備	140	台
				その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	令和 4	年度	報告対象年度	令和 5	年度
	終了年度	令和 6	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

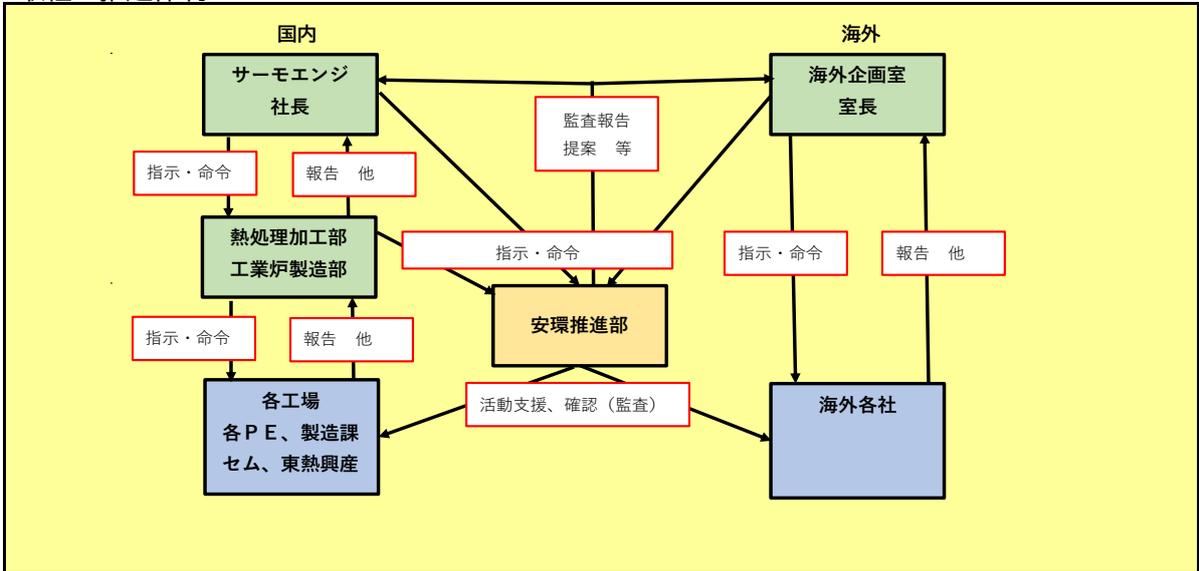
DOWAグループ環境基本方針
 DOWAグループは、循環型社会の構築を推進するとともに、事業活動を通じて、次世代へ良い地球環境を継承することを目指します。

- お客様(顧客、地域など)に対し循環型社会の構築に寄与する製品・サービスを提供します。
- 事業活動における環境負荷、環境リスクを低減します。
- 経営陣から従業員にいたるまで、一体となって環境保全活動に取組みます。

DOWAサーモテックグループ環境基本方針
 DOWAサーモテックグループは、地球環境保護に対する社会的責任、DOWAグループ環境基本方針を踏まえ、次の環境基本方針のもとに活動を進めます。

- 環境負荷の継続的改善に取り組み、汚染の予防に努めます。
- 法規制その他要求事項を遵守すると共に、作業環境改善、周辺環境維持を図ります。
- 環境目的・目標を設定し、実行計画の策定と次の項目に関する具体的活動を行い、高い水準を目指して必要に応じて見直しを実施します。
 - 高効率設備導入、工程変更等による、電気・ガス使用量改善等の温室効果ガス削減・省エネルギー活動の促進
 - 産業廃棄物の適正管理と3R(Reduce、Reuse、Recycle)の推進
 - 環境リスク洗い出しと適正管理を実施
- 本方針は、DOWAサーモテックグループ関係者に周知させると共に、一般にも開示します。

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

ISO14000取得後(2004年)より環境目標実施計画書に盛り込み、計画的に積極的な取組みを行っている。

- ①電気使用量の削減
 - 稼働設備の計画停止
 - 省エネ設備、機器の導入
 - 熱処理 処理時間の短縮
 - 充填率の向上
 - ショットブラスト方法の見直し(時間短縮)
 - 空炉時間の短縮
 - 照明の節電対策
 - エアコン設定の改善
 - 空調設備の改善・地中熱利用のスポットエアコン
- ②都市ガス使用量の削減
 - 稼働設備の計画停止
 - 省エネ設備、機器の導入
 - 熱処理 処理時間の短縮
 - 充填率の向上
 - 空炉時間の短縮
 - その他

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	パイロットバーナーのセラミックヒーター化	令和4年度～	5基交換実施 合計10基交換完了
2	運用改善	TD湯洗浄槽の入替回数減	令和4年度～	R3年度実績:26回 R4年度実績: 21回 R5年度実績:22回
3	設備導入	最新鋭省エネ炉の導入(現状設備のリニューアルの推進)	令和6年度	来年度より実施予定
4	プロセス改善	バッチ炉→ミニ連続炉への工程変更(LA12キヤパ-キングロック)	令和4年度～	実施中→ 他社製品へも展開予
5				

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1		該当なし		
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>上記、(1)の取組み等により、R4年度を基準年度とし、以下の数値目標の達成を目指します。(前年度比1%減を目標とする。)</p> <p>原単位 = 『 エネルギー使用量 / 生産量 』</p> <p>原単位の考え方は、以下の通りとなります。 エネルギー使用量は、生産量に大きく影響を受ける為、生産量(t)を、原単位の指標(分母)として設定しました。</p>	<p>令和4年度実績:0.77%削減 令和5年度実績:0.68%削減</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告				
		(4)年度	(5)年度	(6)年度	()年度	()年度
原油換算エネルギー使用量	kL 4,444	4,170	3,961			
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂ 7,286	6,149	6,700			
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂ 7,286	6,149	6,700			
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂					
CH ₄	t-CO ₂					
N ₂ O	t-CO ₂					
HFCs	t-CO ₂					
PFCs	t-CO ₂					
SF ₆	t-CO ₂					
NF ₃	t-CO ₂					
エネルギー等原単位の推移	0.342	0.402	0.362			

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	リジエネバーナー蓄熱体更新	令和5年度～令和6年度	令和4-5年度は未実施
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	太陽光発電導入
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(4)年度	(5)年度	(6)年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	0	0	0			
上記のうち自家消費量	kWh	0	0	0			

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減によりCO₂ネットゼロ社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容およびその実績

取組の内容等	取組の実施状況
○弊社は省エネ改善の設備製作販売により、 低炭素社会づくりに貢献している。 ○自社製省エネ炉での受託加工により、 低炭素社会づくりに貢献している。 弊社は、熱処理受託加工部門と設備の製造販売を 実施している。 放散熱を改善した炉及び熱源の効率化を図った炉を、 販売し上記に貢献している。 また、自社使用設備も、旧型設備からのリニューアルを、 毎年実施しており、改善に取り組んでいる。	来年度(R6年度)に自社設備更新予定
	CO ₂ 削減貢献量
	0.0 t-CO ₂

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標および目標設定の考え方
目標:当工場生産している製品製造過程において、電力・ガス使用量の削減を実施し、 二酸化炭素排出量の削減に貢献している。 具体的数値目標:自社設備更新 R6年度1基 更新予定 考え方:使用エネルギーの削減により、二酸化炭素排出量削減。 販売設備の機能向上により、使用エネルギーの削減を実施。

(3) 上記の取組にかかる目標の進捗に対する自己評価およびCO₂削減貢献量の算出根拠

目標の進捗に対する自己評価
来年度(R6年度)に自社設備更新予定の為、未達成
CO ₂ 削減貢献量の算出根拠
来年度(R6年度)に自社設備更新予定の為、算出不可

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(4)年	(5)年	(6)年	()年度	()年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂	7,286	6,149	6,700			
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂		6,149	6,700			
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh						
特記事項							

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(4)年	(5)年	(6)年	()年度	()年度
グリーン証書の購 入	t-CO ₂	0	0	0			
クレジットの購入	t-CO ₂	0	0	0			
特記事項							

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1	その他	出張回数の低減(web会議システム等の有効活用)	令和4年度～ 令和6年度	毎月各1回実施の全体会議2種の出席をweb会議に切替 顧客との定期開催会議3種をweb会議に切替
2	SDGs	社有車の次世代自動車への更新	令和5年度～ 令和6年度	R6年度内に次世代自動車 への切替実施予定
3				

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

	項目	単位	計画開始年度 前年度の 保有台数	実績報告				
				(4)年	(5)年	(6)年	()年度	()年度
	保有車輛の数	台	6	6	6			
	上記のうち 次世代自動車等の 数	台	0	0	0			
特記事項								

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	3R	廃ソルト削減(持ち出し量低減、再利用) 梱包材のリデュース活動	令和4年度～ 令和6年度	R3年度実績対比 :R4年度実績△30% :R5年度実績△30% 全体の70%達成
2	グリーン購入	グリーン購入基本方針に沿って、事務用品・消耗品等の グリーン調達実施継続	継続	
3				
4				
5				